

ながおか やすこ

長岡 泰子 倉敷中央病院 歯科

**【背景】**

健全な咀嚼能力を維持し健康に生活する為には成年期におけるう蝕と歯周病を予防することが大切である。しかしながら、成年期の内科検診は義務化されているものの歯科検診は義務化されておらず、痛みなどの症状がでてから歯科受診することが多いのが現状であると思われる。そのようなことから従業員の歯科口腔保健の向上を目的として、当院では平成10年度より歯科検診を行っている。

**【目的】**

成年期歯科検診及び保健指導を行うことで、歯科口腔保健向上のための行動変容を図る。

**【方法】**

25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳を対象にしたところ当院従業員2671名中対象者は468名であった。

検診者全員にパノラマ撮影を行い、問診表に現在気になっている事、知りたい情報を記入してもらった。その後、口腔内診査、歯周ポケット測定、歯科保健指導を行い、検診結果の説明を行った。

**【結果】**

歯科検診対象468名のうち希望者は283名であった。25歳、30歳、35歳で206名（男49名、女157名）に対して40歳以上では77名（男20名、女57名）で若年者が多かった。また、う蝕罹患状況は、25歳男1.6本、女1

本、30歳男0.5本、女0.3本、35歳男0.5本、女0.47本と男性のほうが多かった。また若年者はポケット4mm以下ではあるが歯肉出血や歯石沈着しているものが多かった。また歯科検診後、要治療者は250名であったがそのうち、当院歯科を受診し歯石除去やう蝕治療を行っていたものは83名（33.2%）であった。一方歯科検診後アンケートでは、毎年の歯科検診希望（現在5年毎）や歯科検診が歯科受診をするきっかけとなったなどの感想がよせられた。

**【結論】**

歯科検診後に約30%の受診者が歯科受診行動をおこしており、行動変容に一定の効果があると思われた。また歯科治療要と推奨したにも拘らず受診していないものが167名で（66.8%）であった。今後は、歯科検診を希望しないもの、歯科受診を推奨しても受診しなかったものに対するアプローチが課題と考えられる。

**（連絡先）**

長岡泰子

〒710-8602 岡山県倉敷市美和1-1-1

倉敷中央病院 歯科

E-mail ys5399@kchnet.or.jp